

TOKYO AUTO SALON 2010

最新GT-Rチューニング

世間は寒い大不況のまただ中。しかしチューニング業界は熱かった。
東京オートサロンは23万8000人を動員。モーターショーより燃えていた!?

Photo by Masayuki Inoue(MM) Tast by GT-R BROS.



ノーマルGT-Rにはない、強烈なインパクトを与えるフロントマスク。それでいて下品でないところがトミーカイラらしい。リアスタイルに戦闘的なイメージを与えるリアウイングは、FRPとカーボンの組み合わせ。トミーカイラのアロパーツは単品でも買えるが、フルキットの価格は、塗装、取り付け費用別で168万円(税込み)



1. フロントバンパー、リップスポイラー、フロントアンダーディフューザーなどをセットにしたフロントセットは63万円(税込み)
2. 純正バンパーの下は、リアアンダースポイラーとリヤレーシングディフューザーで武装
3. リアには片側20mm拡幅されるリアフェンダーアーチエクステンションを装着。ホイールはヨコハマ製AVS MODEL F15。タイヤはピレリのPゼロを展示車に履かせていた
4. サイドステップの材質はFRPとウエットカーボンの組み合わせ
5. リアウイングの下には、R32GT-R NISMOのような小さなトランクスポイラーを設置



内装まで手を入れた珠玉の逸品



TOMMYKAIRA JAPAN

<http://www.tommykaira.com/>

TOMMYKAIRA Ebbrezza-R

さすがはコンプリートチューニングの老舗ブランド
圧倒的な存在感と仕上げの美しさが注目の的

トミーカイラからウワサのR35GT-Rコンプリートカーがついに登場。R35GT-RをベースとしたトミーカイラRは、常に高い評価を受けていただけに、トミーカイラから発表されるR35GT-Rも期待値が上昇中だった。実際、その完成度の高さは予想を超えるもの。独自のアイデンティティを感じさせるデザインと仕上げの美しさが、国内外プレスをはじめ多くの人々の注目を集めている。



1. インパネ回りやドアの内張りを深紅で統一された素材に交換
2. ルーフまで情熱的な色使いに変更されていたのには驚かされた。シートはレカロのRS-G TOMMYKAIRA Ver.を展示車に取り付け
3. 運転席側のドアの内側には、製造プレートを取り付け。トミーカイラであることの証
4. ハンドルはカーボン製に交換。走りを感じさせる心憎いアイテム
5. ハイパフォーマンスブレーキシステムは、レーシングモノブロックのキャリパーを採用。前後とも6ポット。390φローターを含めたシステムの価格は183万7500円(税込み)
6. 純子タンのプレミアムエキゾーストシステムは34万8600円(税込み)

